

地域情報誌
2013年4月
(No8)

DE すがね

〈編集・発行〉生きがいのある須金をつくる会



(運動会での一輪車演技)



(卒業式 最後の雲海太鼓)



(左/酒井一樹さん 右/河村華佳さん)



卒業おめでとう！

この春、2人の6年生が須磨小を卒業されました。

今回のDE すがねでは、新たな旅立ちを迎えた2人の、特別インタビューを掲載します。
大きな未来に向かって一步を踏み出す2人を、須金のみんなが応援していますよ！

なお、インタビュアーは特派員の田辺まゆみさんをお願いしました。

Q) 須磨小学校での思い出は？

酒井さん) 和紙すき体験で、紙を漉くことの難しさを克服できたことです。

河村さん) パン教室で、初めは変な形だったけど、最後はきれいに焼けるようになったことです。

Q) 中学校に入ってから目標は？

酒井さん) 返事が大きく出来るようにしたいです。バスケットボールがしたいです。

河村さん) 素早い行動が出来るようにしたいです。また、部活は美術部に入りたいと思っています。

Q) 将来の夢は？

酒井さん) 今から見つかるといいな・・・。

河村さん) イラスト関係の仕事につきたいです。

Q 1. 農業を志されたきっかけは何ですか？

A 1. もともと農業を志していたわけではなく、サラリーマン時代から体を動かして、やったらやった分だけ結果が出るものづくりの仕事がしたいと思っていました。縁があって農園を始めましたが、今はとても満足しています。

Q 2. 自転車がお趣味とお聞きしました。

A 2. サラリーマン時代から乗っていますが、なかなか忙しくて。中原の須田浩史さんと須金自転車部を創っていますが活動休止状態です。自宅を建設中ということもあって、今は日曜大工をよくやっています。

Q 3. 最近、葭谷の自治会長さんになられたそうですね。

A 3. 自宅を建て、これから須金に住むので、少しでも地域の役に立てればと思っていました。話がトントン進み、気づけば葭谷の自治会長を拝命しておりました。(笑)

Q 4. 奥様との出会いは？

A 4. 大学時代に同じ水工学研究室に所属していました。お互い卒業後、東京で就職した後に再会し、今に至っています。妻は門司出身で、転勤族の家庭で育ったのですが、中学生の時、私と一緒に周陽中学校に通っていた時期もあったそうです。一学年下なので覚えていないのですが。

Q 5. やまがた農園の魅力をお教えてください。

A 5. 小さい農園ですが、アットホームな雰囲気でしょうか。あと看板犬のみかんです。よく吠えますけど(笑)。これからも新しいことに挑戦していきたいと思っています。

人物紹介 山縣聡さん(葭谷)



写真上：奥さんの幸子さんと
写真下：自慢の自転車と

(インタビュー：須金公民館 周山健太郎)

ノーガニックフェスタ

農ganic Festa2013が開催されます！

須金の若い人達を中心となって、カッコいい農業、親子で楽しめる自然体験、そして、ここでしか味わうことのできない美味しい食べ物が満載のイベント「農ganic Festa 2013」が5月5日(日)にふれあいプラザ須金で開催されます。

今年の目玉は錦電橋を渡った特設イベント会場で行われる「青空ヨガ」体験！！須金の美しい自然の中、心も体も解き放ち、リラックスした時間を過ごしてください。そして、昨年大好評だったドラム缶ピザに続く、須金オリジナルフード第2弾、その名も「須金ガールズバーガー」。須金が誇る、ナチュラル美人主婦軍団が作る、猪肉を使ったこだわりのハンバーガーです。どうぞ、お楽しみに！

(文/福田陽一)



消防団研修旅行レポート

2月9日、晴れ。総勢21名の消防団員はまだ薄暗い中、須金の町を出発。

1日目、熊本城では、武将のコスプレをした若者に岩本さんが絡んでいたのが印象的だった。旅館では、なぜか各地の消防団も同じ宿。風呂場はむさ苦しい男どもで溢れていた。その夜、足を伸ばした熊本の町は12時を過ぎても肩がぶつかるほどの賑わいで山口との違いを痛感。

2日目、阿蘇山は珍しいほどの快晴。有毒ガスで頂上には登れなかったが、すばらしい眺望で大自然を満喫できた。

新入りの私にとって、初の消防団研修旅行でしたが、皆様のおかげで大変楽しく有意義な2日間を過ごすことができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。
(文/山縣 聡)



(写真/阿蘇山をバックに記念写真)

平成24年度 須金地区社協行事報

平成24年8月14日(火)に須磨小学校体育館において、初盆を迎えられる物故者の追悼式と、文化伝承のため盆踊り大会も合わせて開催し、多くの地区住民のご参加をいただきました。

物故者追悼式及び盆踊り大会



敬老会



平成24年9月9日(日)須金農村改善センターにおいて開催されました。地区内の75歳以上192人へご案内を差し上げ82名のご参加があり、祝賀会では、和やかで楽しいひとときに笑顔あふれる皆様でした。

また、本年も数多くの皆様方のお元気なお顔と再会できることを願っております。

平成24年12月7日(金)須金農村改善センターにおいて、高齢者の皆様をお招きして、ささやかではありますが、楽しいひとときをお過ごしいただくために「ふれあい忘年会」を開催しました。

高齢者ふれあい忘年会



香典返し及び指定寄付のお礼

本年度中に、次の方から須金地区社会福祉協議会に対し「指定寄付」を頂戴しましたのでご報告いたします。この浄財は、地区社協の事業費に組み入れ、福祉活動に役立てて行きたいと存じます。有り難うございました。紙面を借りてお礼を申し上げますと共に、故人のご冥福をお祈り申し上げます。

香典返し(本地区社協への指定寄付)

(下市)重長 豊 様 (逝去者 妻トシ子)(長谷)安村 松子 様 (逝去者 夫 操雄)

